



⚠️ ジャストベースJEⅡ型(角形鋼管・円形鋼管)の設計指針

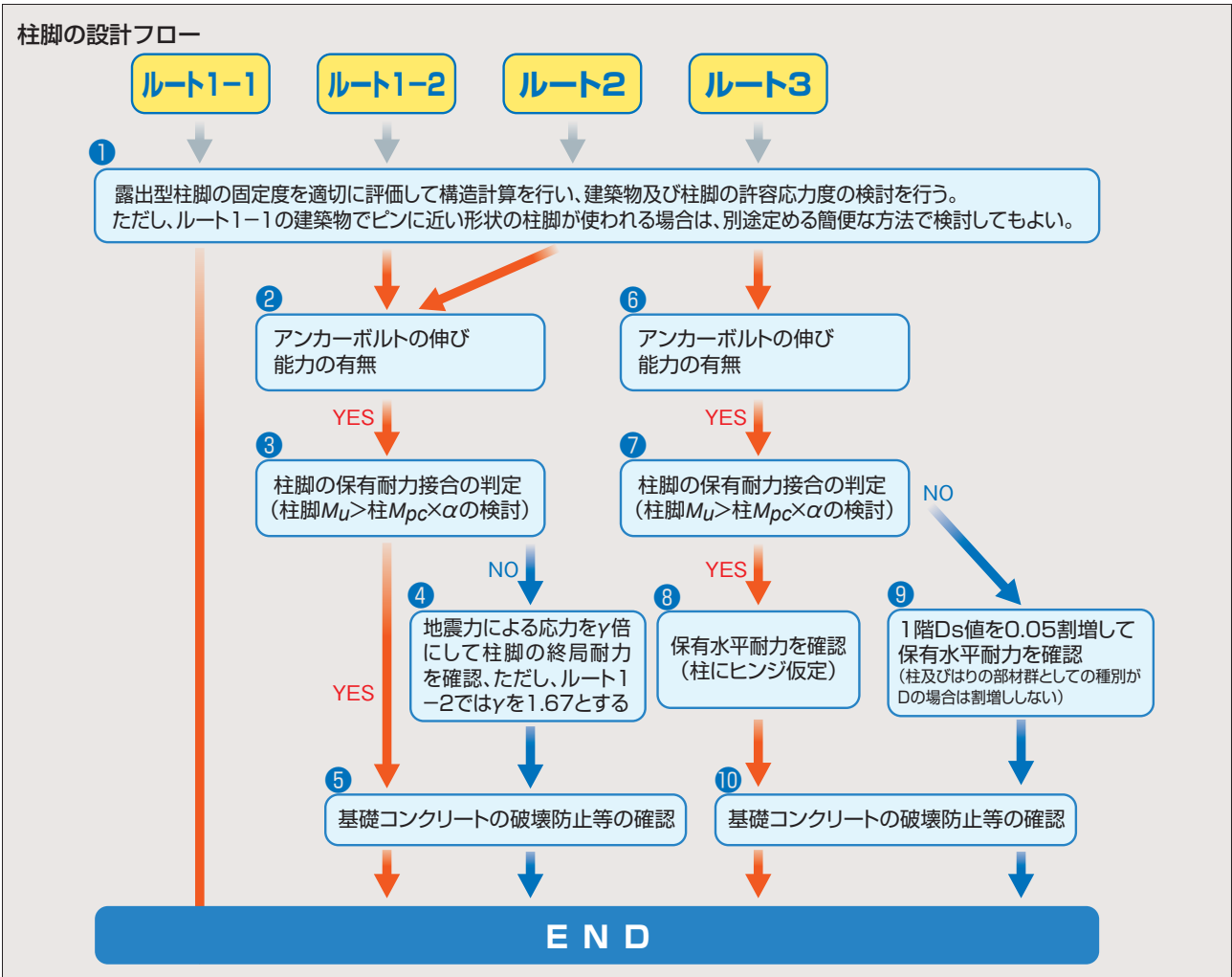
* 柱脚の設計フロー

ジャストベース JEⅡ型(角形鋼管・円形鋼管)の設計フローは、「2020年版建築物の構造関係技術基準解説書」に則り、下図の設計フローに従って行う。なお、ジャストベースに用いるアンカーボルトはネジ部有効断面積が軸部と同等であるため、②、⑥において伸び能力のあるアンカーボルトと判定する。

JEⅡ型(角形鋼管・円形鋼管)は保有耐力接合を満足するため③、⑦においてYESと判定し、⑤もしくは⑧(下図の赤線矢印)に進む事ができる。

JEⅡ型(角形鋼管・円形鋼管)は軸力により保有耐力接合を満足しない場合は③、⑦においてNOと判定し、④もしくは⑨(下図の青線矢印)に進む事ができる。

⑤、⑩については、JEⅡ型(角形鋼管・円形鋼管)標準柱脚仕様において、検討応力が柱脚降伏耐力曲線の範囲内に存在することを確認することにより、基礎コンクリートの破壊防止等の確認を行ったものと見なす事ができる。但し、標準仕様の基礎柱型と異なる仕様の基礎柱型の場合は、基礎コンクリートの破壊防止等の確認は行わなければならない。



柱脚詳細

* 原則

本指針による柱脚詳細はジャストベース標準仕様による。

* 共通事項

- 溶接
柱部材とベースプレートの溶接は完全溶け込み溶接とする。
⚠️ ベースプレートと柱材の溶接施工及び施工管理は、鉄骨製作者に属する鉄骨製作管理技術者等により行うものとする。
- 基礎柱型
コンクリートは普通コンクリートとし、設計基準強度 $F_c = 21\text{N/mm}^2$ 以上(機種により 24N/mm^2 以上)とし、 F_c の上限値は 30N/mm^2 以下とする。基礎柱型の配筋は P9 ~ P22 に示すジャストベース標準仕様による。

構造計算ソフト

* 対応構造計算ソフト

- ・ Super Build/SS7
- ・ Build. 一貫VI
- ・ SEIN La CREA
- ・ NBUS-7
- ・ ASCAL

* 耐力曲線プログラム

耐力曲線図においてジャストベースの耐力を判定するソフトがジャストベース HP よりダウンロード可能です。

最新版はダウンロードページをご確認ください。

URL : https://www.kemco.co.jp/pro_kenzai/kenzai_top